



# 就任あいさつ

下川町長 谷 一之

私は、この度の任期満了に伴う下川町長選挙において、町民の温かいご支援とご厚情を賜り、当選の榮に浴し、2期目の町政を担当させていただきますことになりました。

4年間を顧みますと、国全体が人口減少を迎える中、少子高齢化の進展に的確に対応し、将来にわたって活力ある社会を維持していくために、「5つの循環」を柱として位置づけました。「経済の循環」としては、各種産業の安定化や振興等に向け、「下川町産業活性化支援機構」に「タウンプロモーション推進部」を設置し、移住・定住施策や人材確保に努めて参りました。「資源の循環」としては、

町内に点在する空き家の活用を促進するため、国の制度を活用した「空き家対策総合支援事業」などにより空き家の有効活用などの施策を進めて参りました。「暮らしの循環」としては、医療、福祉などの施策として「福祉医療連携会議」を設置し、福祉・医療従事者の人材確保に向けた手当等の処遇改善や子育て支援などの施策を進めるとともに、医師の確保やCTなどの整備を実施して参りました。「情報の循環」としては、

「情報の循環」としては、情報告知端末などの活用による情報の拡大などの施策を進めるほか、「人材の循環」としては、ICTを活用した教育環境の充実に努めて参ります。



した。

今後におきましても、町民の皆さんからのご意見を踏まえながら、行政サービスの適正化に努めるとともに、財政状況などを的確に認識しながら、「持続可能な財政運営」を目指し、第6期下川町総合計画で設定した財政運営基準に基づき、「政策と財政の両立」を目指していく考えであります。

私は、2期目のスタートに当たり、「いっしょに創ろう！しかもかわの歴史と未来！」をまちづくりの基本概念として、住民と行政の協働作業によって、『今と未来のしかもかわづくり』を行い、『幸せ人口』の増加を目指して参ります。

子どもも、若者も、そして、お年寄りまで、みんなが安全安心な暮らしと、生きがいの持てる「幸せ日本一のまち」、人材育成や人材誘致に積極的に取り組む、「住民が主役で、活躍のできるまち」、既存産業と新たな起業に対するの支援を行い、「潤いと活力のあるまち」を創ることを重点に取り組みを進めて参ります。

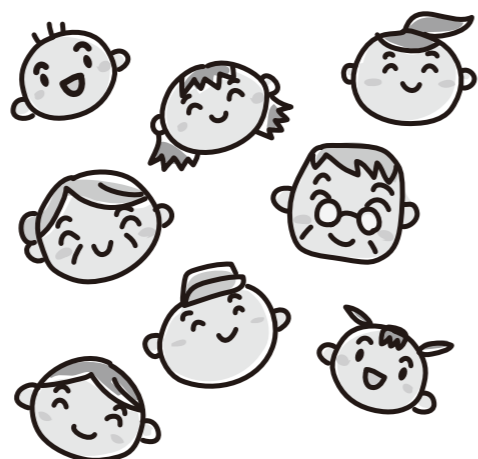
7点の重点事項として、①幸せで豊かな暮らしを創ります！、②子育て支援の体制づくりを行います！、③命を守り、安全安心な暮らしを創ります！、④働きがいのある仕事づくりを行います！、⑤生きがいを感じるまちづくりを行います！、⑥住民とのコミュニケーションの場を創ります！、⑦地域課題を解決する話し合いの場として進め、「今と未来のしかもかわづくり」を行い、「幸せ人口」の増加を目指すものです。

具体的には、「経済の循環」「資源の循環」「暮らしの循環」「情報の循環」「人材の循環」による「86の約束」を町民の皆様とともに、毎年検証しながら、地域課題を解決するため、積極的に展開していく所存であります。

10点の「身近なまちづくりのやくそく」として、①国から選定を受けた「SDGs未来都市」(持続可能な開発目標を設定するまち)の積極的な運用を図り、「2030年のありたい姿」を展望して、夢のあるまちづくりを推進します！、②高齢者や障がい者にやさしい「福祉・医療・介護」サービスの充実に努め、本人と家族が安心して暮らせる環境を創ります！、③子育て世代や女性が、積極的に参加する社会環境を創ります！、④子供たちの潜在能力を引き出し、豊か

かに優しい心を育みま

す！、⑤若者や高齢者が、それぞれの立場で活躍し、共に協力し合う環境を創ります！、⑥「産業連携会議(農業・林業・商工業など)」の活発な運営を図り、産業振興の拡充に努めます！、⑦公区の在り方を検証し、住民と行政による「協働のまちづくり」をめざします！、⑧政策・公約を検証する「マニフェスト・オンブズマンチーム」を継続します！、⑨「除排雪事業者」や「除排雪対策連絡協議会」との連携体制を強化し、冬期間の快適な環境を創ります！、⑩町民との懇談会、『町長のおじゃまします！』、並びに、『ようこそ町長室に！』を継続して実施します！を主要公約として、「幸せ日本一のまち・しかもかわ」を創るために、「信念と情熱」をもって行動する決意であります。



町民主権のまちづくりを進めるため、積極的な情報提供、情報共有に努めて参りますので、町民の皆様におかれましては、今後とも様々な機会をとらえて町政にご参加いただき、「ふるさと下川町」の発展のために、一層のご協力とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

